

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
（分担研究報告書）

全国がん登録と連携した臓器がん登録による大規模コホート研究の推進及び高質診療データベースの為のNCD長期予後入力システムの構築に関する研究

（研究分担者 三上幹男・東海大学・教授）

研究要旨

日本婦人科腫瘍学会JSGOガイドライン委員会では、昨年度行った日本産科婦人科学会JSOG婦人科腫瘍委員会婦人科悪性腫瘍登録事業データベース（2000-2012）を用いての頸癌・体がん・卵巣がん治療ガイドラインの導入による治療動向、治療成績の変化及び患者背景の推移の検討結果についての論文作成を行うと同時に、その結果を反映させた頸癌ガイドラインを平成29年7月に改訂発刊した。また今回の研究結果を踏まえ現在体がんガイドラインを改定中であり来年度の秋の発刊を目指して作業中である。2006年よりJSGOが行っている婦人科腫瘍専門医育成のための修練施設認定の有効性についての検証を行い、さらに頸癌、体がん、卵巣がん、外陰・膣がんガイドラインのCQの中から本邦での現状が不明な点についてのCQを抽出した。

A. 研究目的

日本産科婦人科学会JSOG婦人科腫瘍委員会婦人科悪性腫瘍登録事業データベースを用いて、頸癌、体がん、卵巣がん、外陰・膣がんガイドラインのCQの中で本邦での現状が不明な点についてのCQを抽出し、本邦での現状を明らかにすると同時に、2006年より日本婦人科腫瘍学会JSGOが行っている婦人科腫瘍専門医育成のための修練施設認定の有効性についての検証を行うことを目的とした。

B. 研究方法

頸癌、体がん、卵巣がん、外陰・膣がんガイドラインのCQの中から本邦での現状が不明な点についてのCQを抽出した。抽出したCQとJSGO腫瘍専門医制度認定施設の有用性に関して上記JSOGデータベースを用いて統計解析をSAS 9.4 softwareを用いて行った。本研究は東海大学附属病院臨床研究審査委員会及びJSOG臨床研究審査委員会にて倫理的問題についての審査を受け承認を受けた。

C. 研究結果

各ガイドラインより22個のCQが抽出された。JSGOは、2005年より婦人科腫瘍修練施設の認定を独自の施設基準を設けて行っている。これらの施設は婦人科腫瘍専門医を育成するための教育機関であるが、これらの施設の臨床能力を検討するためにJSGO修練認定施設とJSGO認定でない施設で治療を行った頸癌患者の予後比較を行った。全進行期の頸癌の予後は多変量解析の結果、施設認定の有無によりRR：0.843（0.784-0.905）、 $p < 0.001$ であった。

あった。また手術例のみ（術後治療ない）についての検討結果では、RR：0.552（0.393-0.775）、 $p < 0.004$ であった。

昨年度の検証結果の論文化を行うと同時に検証結果の内容を反映させ、平成29年7月に頸癌ガイドラインを改定発刊した。また同様に体がんガイドラインも上記の結果を反映させて平成30年度秋発刊を目指して改定中である。

D. 考察

JSGOが行ってきた婦人科腫瘍専門医修練施設の認定の効果明らかにしており、また施設認定の基準に関してもある程度の施設の差別化ができていると考えられた。認定施設の治療効果が優れていることが明らかとなり、医療の進歩に伴い様々な観点より施設認定基準を変更していくことも必要であり、このような検証を今後も行っていくことが必要であると考えられる。

E. 結論

JSGOが行っている婦人科腫瘍専門医育成のために施設認定についてJSOGのデータを用いて施設認定の有効性について証明することができた。JSOG婦人科腫瘍委員会婦人科悪性腫瘍登録事業データベースを用いて、今後は今年度抽出された22個のCQについて解析を行い、今後改定を行っていくガイドラインに反映させていくことが重要である。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

- ① Shigeta S, Nagase S, Mikami M, Ikeda M, Shida M, Sakaguchi I, Ushioda N, Takahashi F, Yamagami W, Yaegashi N, Udagawa Y, Katabuchi H. Assessing the effect of guideline introduction on clinical practice and outcome in patients with endometrial cancer in Japan: a project of the Japan Society of Gynecologic Oncology (JSGO) guideline evaluation committee. *J Gynecol Oncol*.2017;28(6):e76.
- ② Matsuo K, Shimada M, Yamaguchi S, Kanao H, Nakanishi T, Saito T, Kamiura S, Iwata T, Mikami M, Sugiyama T. Identifying a candidate population for ovarian conservation in young women with clinical stage IB-IIIB cervical cancer. *International Journal of Cancer*. doi: 10.1002/ijc.31084 .2017 In print
- ③ Matsuo K Shimada M, Yokota H, Satoh T, Katabuchi H, Kodama S, Sasaki H, Matsumura N, Mikami M, Sugiyama T. Effectiveness of adjuvant systemic chemotherapy for intermediate risk stage Ib cervical cancer. *Oncotarget* 2017 In print
- ④ Itamochi H, Oishi T, Oumi N, Takeuchi S, Yoshihara K, Mikami M, Yaegashi N, Terao Y, Takehara K, Ushijima K, Watari H, Aoki D, Kimura T, Nakamura T, Yokoyama Y, Kigawa J, Sugiyama T. Whole-genome sequencing revealed novel prognostic biomarkers and promising targets for therapy of ovarian clear cell carcinoma. *Br J Cancer*. 2017;117:717-724.
- ⑤ Mikami M, Nagase S, Yamagami W, Ushijima K, Tashiro H, Katabuchi H. Opportunistic bilateral salpingectomy during benign gynecological surgery for ovarian cancer prevention: a survey of Gynecologic Oncology Committee of Japan Society of Obstetrics and Gynecology. *J Gynecol Oncol*. 2017;28(5):e52

2. 学会発表

- ① Mikami M, Shida M, Shibata T, Kigawa J, Katabuchi H, Aoki, D, Yoshikawa H, Yaegashi N. Implementation and quality assurance of training institutions for gynecologic oncologists in Japan. SGO2017 Annual Meeting on Women's Cancer:2017.3.12-15:America, Washington DC.

- ② Matsuo K, Shimada M, Aoki Y, Sakamoto M, Mikami M, Fujiwara H, Takeshima N, Sugiyama T. Comparison of adjuvant therapy for node-positive, high-risk, early-stage cervical cancer: Systemic chemotherapy vs. pelvic irradiation. SGO2017 Annual Meeting on Women's Cancer:2017.3.12-15:America, Washington DC.
- ③ Mikami M. シンポジウム□ : Precancerous lesions of gynecologic cancers SY-□-2 Clinical Approach of Precancerous Lesion in Japan-Understanding of pathological and clinical significance of CIN and SIL- 第59回日本婦人科腫瘍学会学術講演会:2017.7.27-29:熊本
- ④ 三上幹男. ガイドラインミーティング : 子宮体癌2018年版・子宮頸癌2017年版 GL-6 子宮頸癌進行期分類－FIGO分類、TNM分類、JSOG腫瘍登録との関係－. 第59回日本婦人科腫瘍学会学術講演会:2017.7.27-29:熊本
- ⑤ Mikami M. Symposium 1 Extensive and Robotic Surgery for stage □B cervical cancer - role of radical surgery -. The 5th Biennial Meeting of Asian Society of Gynecologic Oncology ASGO2017:2017.11.30-12.1:東京.

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし